

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）  
分担研究報告書

エコチル調査データの脳性麻痺症例の属性解析  
研究分担者 道川 武紘

研究要旨

エコチル調査で実施されている質問票調査において、質問票に含まれる病歴欄への記載内容に基づく脳性麻痺ケースの抽出方法を報告するとともに、抽出されたケースの基本属性について集計・解析を行った。

各時期の質問票のうち1歳児及び3歳児調査票病歴の質問欄には「脳性麻痺」が病名として明示されている。その他の時期の質問票には「脳性麻痺」が病名として明示されていないが、「その他」の自由記載欄への記載内容を確認した。平成26年9月末時点でデータベースを確認した結果、1歳児及び3歳児調査票病歴の質問欄の脳性麻痺にチェックがあったものは、それぞれ17件、4件であった。6か月質問票、1歳6か月質問票、2歳質問票、2歳6か月質問票の「その他」欄に記載があったものがそれぞれ1件、1件、4件、0件、計6件であった。これら6件のうち3件は1歳質問票ないし3歳質問票においても脳性麻痺の欄にチェックがあった。この結果、24件のケースが抽出された。

A．研究目的

本課題では、エコチル調査データから脳性麻痺が疑われる症例を抽出する方法と抽出した症例の属性解析を行う。

B．研究方法

エコチル調査では、参加者（子ども）の成長発達、病歴、健康状態、及び居住環境等に関する設問を含む質問票調査を6か月毎に実施している。各質問票はコアセンターから一括して参加者宛に郵送し、担当するユニットセンターに返送された後、データ管理システムに入力される。

1歳児及び3歳児調査票においては、病歴として脳性麻痺が含まれている。具体的には、以下の設問の後に、「脳性麻

痺」についてのチェック欄を置いている。

今までに、以下の病気について、医師の診断を受けた事がありますか？ “ある”場合は、通院中の（あるいは診断を受けた）医療機関名を下の一覧表に記入してください（該当する病気の詳しい内容について問い合わせをさせていただきます）。

また、1歳及び3歳以外の時期の質問票には、「その他（具体的に： ）」という自由記載欄を設けており、この欄に、脳性麻痺（マヒ）等の記載があるものも抽出した。

出生後6か月毎に実施する質問票調査の各調査時期における平成26年9月末時点の回収状況（全発送数に対する回収数

の割合)は9割弱であった。また、6か月、1歳、1歳6か月、2歳、2.5歳、3歳質問票の回収数はそれぞれ、73,940件、53,982件、36,469件、22,856件、11,166件、1,669件であった。

この中で、1歳児及び3歳児調査票病歴の質問欄の脳性麻痺にチェックがあったものは、それぞれ17件、4件であった。

また、6か月質問票、1歳6か月質問票、2歳質問票、2歳6か月質問票の「その他」欄に記載があったものがそれぞれ1件、1件、4件、0件、計6件であった。これら6件のうち3件は1歳質問票ないし3歳質問票で、脳性麻痺の欄にチェックがあった。

以上、6か月、1歳、1歳6か月、2歳、2.5歳、3歳質問票の病歴欄への記入から、脳性麻痺のケースとして抽出されたのは24件について、その基本属性を解析した。

#### (倫理面への配慮)

エコチル調査に協力を得られた妊婦については、主治医への問い合わせやご自宅へのご連絡に加えて、医療機関や行政機関が保有する医療記録や健康記録(健診記録など)を収集させていただくことがあること、また質問票の内容などから、もしお子さんがご病気にかかっていることがわかった場合などには、必要に応じて、受診された医療機関に詳しい治療の状況などの情報を問い合わせたり、ご自宅に連絡をとる可能性があることを説明して、文書にて同意を得ている。ただし、本調査においては個人情報扱うこととなることから、情報の利用の際にはエコチル調査コアセンター及びユニットセンターが定めた守秘義務や情報管理規定等各種規定を順守し、協力医療機関等との関係に十分配慮して適切な情報利用を行うこととする。

#### C . 研究結果

24例のうち男児は11例であった。帝王切開による分娩は24例中14例であった。また、母親の職業(妊娠前)は専業主婦・無職が7例、その他事務従事者、販売従事者、専門技術職、サービス職業であった。母親の喫煙(妊娠時)については、非喫煙者18例、今回の妊娠に気づく前からやめていた者2例、今回の妊娠に気づいてやめた者1例、現在喫煙者2例であった。

#### D . 考察

抽出された脳性麻痺のケースは24例と少数であり、その背景属性を解析して、関連因子や予測因子を探索できるものではない。また、抽出に用いたデータベースは追加更新されているもので、本研究では平成26年9月30日時点のものを用いており、完成したものではない。例えば、1歳質問票の登録件数は約5万件であり、全体の約半数である。一方で、脳性麻痺の発生が出生時期に関わるものでなければ、さまざまな不確実性はあるものの、発生率の推計に用いることは可能であると考えられる。

#### E . 結論

エコチル調査で実施している質問票調査の病歴欄への記入に基づいて、24例の脳性麻痺ケースを抽出した。

#### G . 研究発表

1. 論文発表  
なし。
2. 学会発表  
なし。

#### H . 知的財産権の出願・登録状況

( 予定を含む。 )

1. 特許取得

なし。

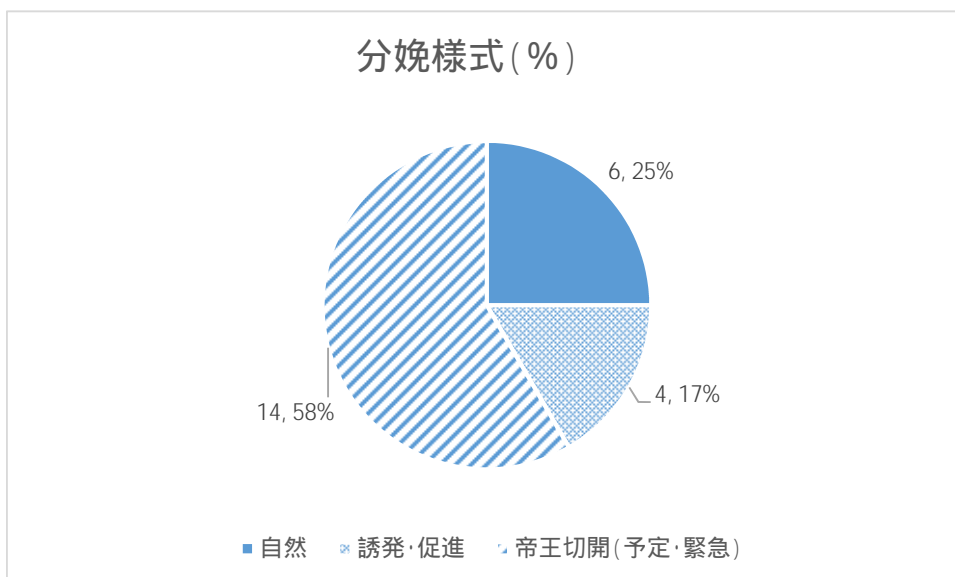
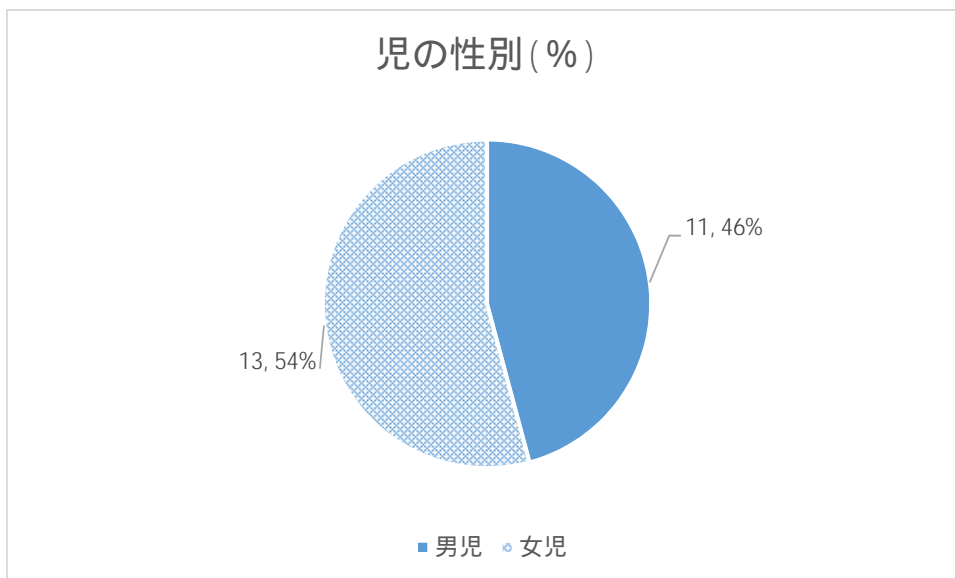
2. 実用新案登録

なし。

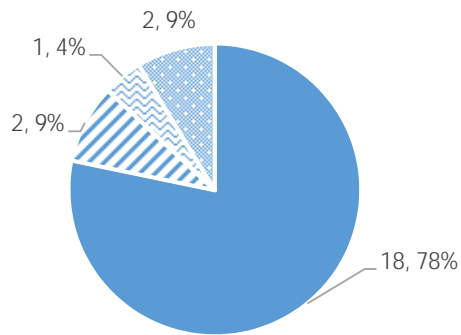
3. その他

なし。

図1. 抽出ケースの属性

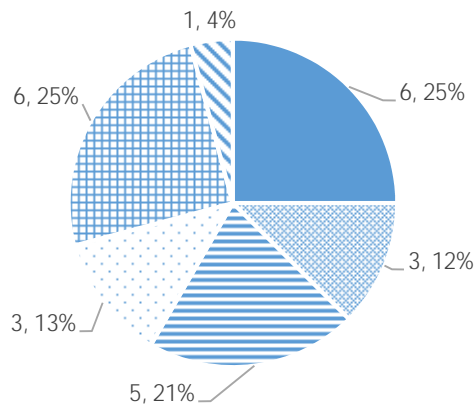


喫煙状況 (%)



- 非喫煙
- ▨ 今回の妊娠に気づく前からやめていた
- ▧ 今回の妊娠に気づいてやめた
- ▩ 現在喫煙

職業 (%)



- 専業主婦
- ▨ 販売従事者
| ▩ 専門技術職 | 3.12% |
| ▧ サービス職業 | 5.21% |
| ▧ 事務従事者 | 3.13% |
| ▨ 無職 | 1.4% |

